

# 失敗しない海外監査の進め方

～海外監査に固有の課題認識と対応策の解説、および問題事例の検討

「内部監査実務マスター・コース」〔第6回開催分（全9会合）〕

●日時● 2019年2月7日（木）14:00～17:00

●会場● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

●講師● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

20年近く会計監査に従事した大手監査法人では監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査等に特化し、アンダーセン消滅後はPwC（中央青山監査法人）で活動した後、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任し、2012年、シニアパートナーを早期退任して、ボルボ・グループで日本の内部監査統括および同グループ会社UDトラックス㈱の監査役に就任。現在も監査役業務の他に藤井範彰公認会計士事務所として監査や不正関連の講演や研修及び執筆活動を続けている。最近の著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」（同文館出版 2016年）で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会 2012年、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究 2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同 2017年5月号等多数。

## ●プログラム●

### ■講義／ 失敗しない海外監査の進め方 <14:00-16:30>

海外子会社の内部監査には言葉の壁や法制度や文化の違いなど国内とは勝手が違う難しさがあるため、一段と高い監査の対応能力が必要です。しかしそこには進め方のコツがあって、問題となりやすい課題を意識して対応策を講ずることで失敗を避け、監査の出来栄も良くなります。

今回は一般的な海外出張型の内部監査を中心に、海外監査を成功に導く実務上の留意点を解説します。とりわけ海外で問題になりやすい事項を想定して、監査の事前準備から計画、往査および報告までの全工程にわたって事例を含めて検討していきます。また、中長期的な視点からの海外監査の監査体制のあり方もグローバル監査体制までを視野に入れて解説します。

### 1. 海外監査チームによる海外監査の課題と対応策

—チーム編成、事前アレンジ、作業ステップと日程管理、  
監査アプローチ、監査報告会と監査報告書 など—

### 2. 海外監査に特徴的な問題対応

### 3. 海外監査の成熟度に合わせた監査体制構築のポイント

### ■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先（社）企業研究会

担当）居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951

180188	2019 2/7 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			